

会員、保護者各位

平素は当館の活動にご格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、本年も後2日。先ほど健心館会員にも年賀状出して来ました。昨年は出す枚数も7名
今年は19名まで増えました。本当に嬉しい限りです。

20代から仕事、家庭、道場に追われてきました。もちろん強化となれば遠征も増えまし
た。そういう状況を見てきた親戚のドクターから健くん、ある程度仕事のみで後ゆっくりせ
んと、仕事だけでさえ忙しいのに倒れるでと言われてはっと思いました。私には、柔道も大
事ですが、守る家族、従業員など多くの守るべきものがあるので優先させて頂いた次第です。

しかしながら、コロナ禍の中、苦しんでいる柔道界、また誰もいない道場、最後、この異
年齢と接する体験できる時、多くの子供たちの面倒見てきたのに、なぜ、我が子がそういう
年代の時、私がおのれをなくしているのか？この3つを思い、長年、週末の時間を柔道に費
やすことの大変さを痛感してきているのでそれをもうしないより、もう一度したい気持ち
が上回りました。しかし、最初は本当にできるのか、月2回からスタートして、私の中で眠
っていたものが起きてきたので今の毎週土曜日としました。

しかしコロナ禍でSNSのみだけで情報発信し、今年度よりチラシを作って本格的に募
集しました。そんな中、ご縁があって当館に入会頂き感謝の気持ちで一杯です。

私は今年50歳になりました。目の前のビルを自社ビルに健心館は11年前に移転、畠中
整骨院は本来移転するつもりはなかったですが、やはりここに来るべきだろうと決断して、
10年前に畠中整骨院が移転しました。自分を褒める事は全くないですが、50歳になった今、
10年前の私には40歳の時、よくやったと言ってやりたいです。

さて、これから10年は、若い指導者を育てて、現場は若い指導者で動かしていくような
健心館に育てて成長させていきたいと思えます。

本日、9年前に母が亡くなった命日です。練習の際、何も言いませんがずっと目ではっぱ
かける母の眼力が、私を激しい練習へとかきたてました。当時6年生だけで20名ぐらいい
た団塊ジュニアの世代で、私が選手から外れた時、自分の子供を強くさせられないなら看板
外すと外したのを後で知りました。無言の館長への激であったと思えます。しかし、厳しい
母でしたが、今、優しくなった愛情の部分しか記憶にありません。それだけ他人への愛情が強
かった母でした。今、人数が増えてきた健心館をみて喜んでいと思っています。

最後、コロナ感染者かなり増えてきましたが、くれぐれもお身体ご自愛下さい。
来年も頑張りましょう。良いお年をお迎えください

令和4年12月30日 健心館畠中道場館長
畠中健